

SPREAD 情報セキュリティサポーター憲章

SPREAD サポーターはサポートを必要とする人と同じ目線でサポートします

サポーターは「水先案内人」。

サポートを必要とする人の価値観やポリシーを尊重し、問題解決のためにはどうしたらいいか共に考え、謙虚な言動を心がけます。

SPREAD サポーターは相手を尊重します

サポートを必要とする人の理解や操作に多少の回り道があっても、さまざまな道や方法があることを踏まえ、その人にとって良いサポートを目指します。

SPREAD サポーターは自分でできる範囲のサポートをします

サポート活動の中では、知らないことに出会うこともあります。

サポーターは、自分の能力を客観的に認識し、手に余ると思った相談や作業は、適切なサポートができるように他の会員（個人・企業）のアドバイスを受けます。

また、「知らないことがある」＝「学びの機会」とし、背伸びをしないサポートを心がけます。

SPREAD サポーターはわかりやすさを大切にします

説明をするときには、わかりやすさを大切にします。

相手が理解できないと感じたときには、言い換えや例をあげるなど、工夫をします。

時間を惜しまず、わかりやすい説明ができるよう努めます。

SPREAD サポーターは好奇心を持ち続けます

セキュリティや IT 関連の情報収集やセミナー参加などを通して知識や技術の刷新を続け、サポーターとしての資質の維持向上に努めます。

SPREAD サポーターは他のサポーターとの交流を心がけます

楽しく長くサポート活動が続けられるように、勉強会やイベント・SNS など仲間と交流する機会を通して、情報交換や、相談、アドバイスなどを受けやすい環境を作ります。